

☆第2回学校運営協議会を開催しました

7月11日（火）に第2回の協議会を開催しました。会議が始まる前に、各教室の授業参観をさせていただきました。その後、北小学校の学校課題について、学校運営協議会としてどんなことができるかについて話し合いを行いました。



授業参観では、児童の生き生きした授業の様子や休み時間に元気に遊んでいる児童の様子を見ることができました。北小学校の児童は、とても落ち着いた授業態度で感心させられました。また、休み時間に元気よく遊んでいる児童の様子を見ると、児童の益々の健やかな成長を応援したい気持ちになりました。

学校課題についての話し合いでは、北小学校の保護者学校評価アンケートの結果で例年低い数値である「あいさつ」「いじめ」「家庭学習」について、本年度どんなことに取り組んでいくかについて検討しました。具体的な取組として①協議会で作成した「あいさつ」ポスターを引き続き掲示し、地域の各種団体でもあいさつの大切さを地域や家庭に呼びかける。②新年度用の「いじめ防止カレンダー」の作成に向け動きだし、カレンダーに北小学校、北第二小学校、第三中学校の主な学校行事を入れるようにする。③北小学校オープンデーの際、3年生と5年生の保護者を対象に、協議会委員が中心となり家庭学習（本年度のテーマは読書）に関するワークショップを行う。という内容が確認されました。これからも、北地区の皆様や保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

☆学校運営協議会委員と北小職員との懇談会を行いました

7月25日（水）、赤石楽舎を会場に標記の会を行いました。最初に、オブザーバーでもある群馬大学大学院教育学研究科 高橋 望 准教授から「北小学校運営協議会の展開」というテーマで、協議会の役割と学校との協働の在り方についてお話をいただきました。その後、北小学校の先生方と委員とで小グループを作り、「北小児童の健全育成のための学校・家庭・地域の役割」というテーマで懇談会を行いました。

- ・地域の各種団体やPTAで親子参加型の行事を行っている。意図的に親子関係が深められるような機会をつくることは大切である。
- ・「あいさつ」は、人との関係をつくる大切なツールとなる。これからも、地域・家庭・学校で大人達が、児童に率先してあいさつをしていくことが大切である。
- ・児童の健康面について、PTAや地域で支援していくことも大切。本年度は特に暑いので、暑さ対策についても学校と協働し、安全面に十分配慮していくことが大切である。
- ・「いじめを許さない」という一人一人の強い気持ちが大切。学校で、一人一人の児童の活躍の場を増やしていくことなどがいじめのない学校につながっていくと思う。

など、本当に沢山の意見交換ができました。この懇談会で出された意見を北小学校のこれからの教育活動に生かしていただくこと、家庭ではもちろんのこと、地域の各種団体でも児童の健全育成に努めていくことが大切であると実感しました。

☆委員からの声 No.2(第5号に続き)

「北小学校のよいところ」 相澤 千絵美 委員



保護者が積極的に学校に関われるところは、北小学校のよいところだと思います。親としては、普段見ることのできない授業の様子を見たり参加したりして、子どもたちと触れあうことができるのは、嬉しいし安心できます。





「北小学校のよいところ」 丸岡 良三 委員



第1回の運営協議会の前に参観させていただきました。どの学年やどのクラスも授業に対する真剣なまなざしと楽しそうに取り組んでいる姿に感動いたしました。児童が活躍できる場や学習環境を整えたり、教材研究や細やかな指導に日々努力したりしている先生方のお陰と感謝いたします。また、6年生の家庭科の授業では、個々に応じた指導ができるように学習ボランティアの方が数名、学習の補助としてナップザックの作成のお手伝いをしていました。安全・図書・学習等の多くのボランティア支援を得ながら教育活動が展開されていると聞きました。安全で安心な学校生活を送り充実した学習活動を行うため、保護者や地域の方々からの支援を得ながら学校作りを進めている素晴らしい学校だと感じました。

「学校運営協議会委員になって見えてきたこと」 新井 恵子 委員



小学校で学ぶべき事は勉強のみならず、いろいろな問題を解決する力やコミュニケーション能力など様々です。何事にも興味と向上心を持って取り組んでいける様な環境作りが大切です。北小は、学校と保護者、そして、地域との連携の先進校ではないかと思えます。この北小の子どもたちにいろいろな形で関わることで、より良い成長のお手伝いができると思っています。近年、何かと忙しく過ごしている子どもたちが、ドキドキわくわくする時間をたくさん経験して、心豊かな人になってもらいたいです。

「北小学校の児童へのエール」 関根 紀男 委員



本校の校歌の中に、「互いの知恵を出し合って勉強すれば」という歌詞があるように、一人一人の知恵を生かす学校になってほしいです。



「わたしの小学校のころの思い出」 平岡 さつき 委員



子どもは遊びの天才といわれますが、私も地面の上でする陣取り遊びのオリジナル版をつくったり、庭先にアンテナの廃材で作ってもらった鉄棒で毎日毎日鉄棒をしたりしました。庭先に胡桃の樹が2本あったので、その木に登って遠くを見るのが好きでした。（わたしが小学校の頃にはまだ、周辺に桑畑が広がっていました。）登校に徒歩で片道30分かかったので、頭の中で物語をつくりながら歩きました。（昭和一桁の両親に育てられたので少々の熱では休むことは許されませんでした。熱でもふらふら歩きながら物語をつくって歩いたものです。）高学年になると放課後、空き地に皆が集まってバレーボールをしました。（バレーボール全盛だったと思います。）学芸会では当時気に入っていたオルコットの小説『若草物語』を私が戯曲化して皆で演じました。それが決められた時間を大幅に超えても終わらず、先生にはさぞかし迷惑ではなかったかと苦笑します。一心不乱に皆で熱中して何かをつくりだしたり挑戦したりする子ども時代でした。